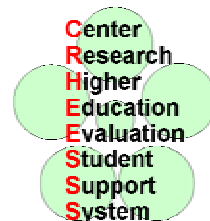


# 週刊センターニュース No.45



第45号(2005年1月24日)毎週月曜日発行  
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL: [http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 共同学習会のお知らせ

第56回 日時: 1月25日(火) 16:20~17:50

場所: 角間キャンパス総合教育棟2階会議室

テーマ「共通教育カリキュラム改革について - その2 外国語科目を中心に - 」

担当: 矢淵 孝良(外国語教育研究センター) 澤田 茂保(外国語教育研究センター)

第57回(当センター共同学習会と本学イーラーニング研究会との第6回合同研究会として開催します。)

日時: 2月8日(火) 16:20~17:50

場所: 総合メディア基盤センタープレゼンテーション室

テーマ: 「文系のための e-Learning 入門」---教師の負担を極限にまで減らすには」

担当: 細谷行輝(大阪大学サイバーメディアセンター教授)

大前智美(大阪大学サイバーメディアセンター助手)

趣旨: 現在、e-Japan、生涯学習等、政府の政策により、コンテンツ、すなわち、デジタル教材作成のための公的な支援が受けやすい環境となりつつあります。しかしながら、デジタル教材を使って効果的な授業を実施するには、優れたデジタル教材に加えて、授業を支援するシステムソフトが必要となりますが、従来の授業支援システムでは、隔靴搔痒の感を拭えず、とりわけコンピュータ関連の知識の乏しい文系教師のレベルを念頭に置いた場合、お世辞にも、使いやすいとは言えない状況にありました。そこで、真にユーザフレンドリーなWEB対応授業支援システムの開発を目指して出来たのがWebOCM「ウェブ・オーシーエム」です。このシステムを活用してどのようにe-Learning 授業を実践しているのか、実演を含めながらお話し致します。

第58回 日時: 2月10日(木) 16:20~17:50

場所: 角間キャンパス総合教育棟2階会議室

テーマ「日本人学生との共学を目指して - 留学生教育と日本の大学 - 」(仮題)

担当: ルチラ・パリハワダナ(留学生センター)

## 公開授業のお知らせ(青野)

1月26日(水)4時限目(14時40~16時10分) 総合教育棟3階B4講義室において、教養的科目「医事法入門」の第13回授業を公開授業とします。教職員の方々の積極的な参加をお願いします。また、各研究室のティーチング・アシスタントの皆さんにもお知らせいただければ幸いです。

この授業は私が担当をします。もともと私担当の授業は全て、『シラバス』で「他の教職員からの意見、批判を受けるために公開とします」と明記しております。今回は、島根大学の教員の方からの授業参観希望があり、それを受け入れることに併せて、広報させていただきます。ちなみにこうした広報は、教養教育機構の研究調査部による公開授業企画として実施された、教養的科目「ゼミナール 自分と向き合う知の方法」以来です。

私の授業では「ミニツツペーパー」を用いているところに一つの工夫があります。授業の最後の数分間を用いて、受講生に、1、今日の授業で最も大切だと思った点、2、質問・感想、の2項目を書いてもらっています。目的は、学生たちに授業内容をその授業時間中で確認する作業をしてもらうことと、教員 学生間に質問・解答による応答関係を作ることにあります。26日の授業でも、前回授業に対するミニツツペーパーの内容の紹介、質問への回答から授業を始めます。その後、前回配布済みの予習用プリントに基づく講義を、学生との質疑応答を繰り返しながら行い、ミニツツペーパーを書いてもらうことで終わる予定です。ミニツツペーパーは、すでに当センター主催第14回共同学習会（昨年4月22日開催）において口頭での報告をしておりますが、拙稿「法学教育における授業内容・方法改善の試み - 法科大学院創設にあわせて -」（『金沢法学』46巻2号、2004年3月、157 - 176頁）においても紹介をしておりますのでご確認ください。

26日の授業内容は、「医療過誤に対する法的対応」をテーマとする三回シリーズの第三回として、医療過誤・医療事故を起こした医師・病院に対する行政上の処分を中心に、最近の具体的事例を紹介しながら、〈過誤・事故の未然防止・再発防止のために法あるいは行政はどう機能すべきか〉を、学生たちに考えさせることを試みます。

1年生を中心とする約30名の受講学生のうち、法学部学生は2名であり、医事法はもちろん、法学についてこれまで全く学んだことがない、またこれからも学ぶことはないであろう学生たち（科目名から医学部学生が多数です）が主たる対象です。

今回は教科書を用いず、予習用プリントで授業を進めます。プリントでは、学生たちの関心を引きやすい最近の新聞報道を採り上げています。なお、このプリントは、著作権法上の制約から、参観者にはお渡しできませんのでご了承ください。

また、授業終了後、大学教育開発・支援センター長室において、島根大学の教員を交え、上記授業についての批判を中心とした意見交換の場も設けます。こちらも奮ってご参加ください。

### **第3回大学評価研究会の開催について**

日 時：平成17年2月15日（火）午後3時～午後5時

場 所：角間キャンパス総合教育棟5F D11演習室

テーマ：オーストラリアの大学評価システム

講 師：Dorte Kristoffersen（Audit Director, Australian Universities Quality Agency /  
オーストラリア大学質保証機構 評価部長）

趣 旨：今回、来日中のDr. Kristoffersen氏を講師に迎え、オーストラリアにおける大学評価と大学の質保証について、御講演いただくこととしました。貴重な機会であり、特に各部局において評価を担当されておられる教職員の方々の参加を希望します。

**講演には通訳がつきます。**

### **センター教員活動記録**

2005.1.22 「第2回長崎大学大学教育機能開発センターシンポジウム 変わる若者、変わるべき教育 - 学生を支援する教育体制，魅せます大学特色科目 -」において、  
「金沢大学における学生企画科目-恋愛論ゼミと総合科目-」と題して依頼報告（青野）